

旭市の教育に関する大綱を策定

策定にあたり

旭市長 明智忠直

平成27年4月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」一部改正の施行に伴い、地方公共団体の長は、地域の実情に応じ、教育、学術、文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めた「教育に関する大綱」を策定することとなりました。

この策定にあたり、総合教育会議において、ふるさと教育の必要性や重要性を共有し、教育委員会と協議、検討を重ね、将来を担う子どもたちに向けた「旭市の教育に関する大綱」を策定いたしました。

私は、少子化により人口減少が進む中で、教育こそがまちづくりの原点であると考えております。旭で生まれた子どもたちが、ふるさとを愛し、夢や目標の実現のために努力をして、学力や体力、豊かな人間性を身につけて、本市の将来を担ってくれることを期待しております。

そのためにも、安全安心な施設の整備、特色ある学校づくりや個に応じた指導の充実、さらに旭市の歴史・文化に触れる機会の提供など、より良い教育環境を整えていきたいと考えております。

この大綱を旭市の教育の柱として、施策の着実な推進を図るとともに、市民の思いを大切にしながら、教育委員会と連携して、本市教育行政のさらなる充実に向け全力で取り組んでまいります。

旭市の教育に関する大綱【概要】

(大綱策定期間 平成28年度～31年度)

I 基本理念

～旭に学び、育ち、旭を誇りに思うひとづくり～

II 重点目標

- (1) ふるさと旭に誇りをもち、世界にはばたく人を育みます
- (2) 確かな学力と生涯にわたり自ら学ぶ姿勢を身につけた人を育みます
- (3) 豊かな人間性や道徳心をもった思いやりのある人を育みます
- (4) 健やかでたくましく活力あふれる人を育みます
- (5) 学校、家庭、地域が一体となり、まち全体で子どもたちを守り育てる体制づくりを進めます

※この大綱の全文は、市ホームページまたは庶務課で見ることができます。



今回は大綱の詳細について紹介します。大綱に関するくわしい内容は、庶務課庶務班(☎55-5721)まで問い合わせてください。



21 校長リレーエッセイ



8時のごみ出し

中央小学校長
池田 文彦

本校は、明治6年真福寺客殿を教場に創立された成田小学校を前身とし、今年度で創立143年目を迎えます。

私が中央小学校に赴任してまず実感したのは、学校周辺の交通量の多さでした。特に北門前の一方通行の道は、道幅が狭い上に朝の交通量が多く、運転している人も児童の登校に大変気を使っています。

そんな中で朝に門の前に立つと、あることに気付きました。毎週火・金曜日はごみ出しの日ですが、児童が通

学する時間、道路の収集場所にはごみの袋がありません。しかし8時を過ぎて児童の登校時間が終わると、近所の皆さんがごみ袋を持って置きに来るのです。他地区ではごみ出しの時間はもっと早いと思いますが、北門前の道は道幅がとても狭く、子どもたちがごみ袋を避けて道路側に膨らんで歩くととても危険です。学校の近所の皆さんは長い間、暗黙の了解でごみ出し時間を調整することで、子どもたちを守っていただいているのだと思います。

中央小は「拍手と笑顔のある学校」をスローガンに、子どもたちが安心して生活し、互いを認め合う学校を目指して職員が丸となっています。その活動を支えていただいているのが、PTA活動やさまざまな行事にボランティアで参加していただいている保護者、そして見守りボランティアや老人クラブをはじめとする地域の皆さんです。世代を超えて143年間、地域が守り育ててきた中央小が笑顔いっぱいの学校となるよう、これからも力を合わせていきたいと思っています。